



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平和
コード番号 6412 URL <https://www.heiwanet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 小祝 隆 TEL 03-3839-0701
ゼネラルマネージャー
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	35,586	1.8	8,654	15.5	8,725	17.3	5,628	13.8
2024年3月期第1四半期	34,942	0.6	7,491	△4.6	7,436	△5.0	4,943	△7.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 5,490百万円 (6.8%) 2024年3月期第1四半期 5,142百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	57.07	-
2024年3月期第1四半期	50.13	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	420,226	240,730	57.3	2,440.81
2024年3月期	428,029	239,185	55.9	2,425.14

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 240,730百万円 2024年3月期 239,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	40.00	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,200	16.0	30,000	28.0	29,200	28.4	20,000	20.4	202.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社グループは、業績管理を年次で行っていることから、通期連結業績予想のみを開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	99,809,060株	2024年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,181,632株	2024年3月期	1,181,505株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	98,627,470株	2024年3月期1Q	98,628,053株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

遊技機業界では、パチスロ機はスマートパチスロから継続的に多台数が導入されるヒット機種が登場してきており、前年のパチンコホール稼働を上回る状況がみられるなど高い稼働を維持しております。一方でパチンコ機は、新しいゲーム性である「ラッキートリガー」を搭載したパチンコ機の販売開始に伴い、遊技機メーカー各社より多様なゲーム性を持つ遊技機が投入され、市場回復の兆しが見えてきました。

ゴルフ業界では、ゴールデンウィークの天候不順や台風の影響を受けたものの、土日は比較的天候が安定していたこと、例年に比べ梅雨入りが遅かったことなどによりゴルフプレー需要は堅調に推移いたしました。

このような経営環境下、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高35,586百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益8,654百万円（前年同期比15.5%増）、経常利益8,725百万円（前年同期比17.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,628百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業は、パチンコ機は「ラブ嬢 ～極嬢のハーレム体験～」、「ToLOVEるダークネス」を発売し、販売台数10千台（前年同期比4百台増）、パチスロ機は「ToLOVEるダークネス」を発売し、販売台数8千台（前年同期比2千台減）となりました。

売上高につきましては、販売単価は上昇したものの、販売台数が減少したため、前年同期比で減収となりました。利益面につきましては、リユースによる売上原価の低減等により、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高8,608百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益2,272百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業は、競合他社との差別化を一段と図るために、「Cool Cart」（送風機付ゴルフカート）の台数を1,000台から4,000台に増強し、また、DXによる業務の効率化を目的として、無人芝刈り機の設置台数を増加いたしました。さらに、お客様への幅広いゴルフブレススタイルの提供及び猛暑への対策として、ナイター営業のゴルフ場の拡充を進めております。

売上高及び利益面につきましては、ゴルフプレー需要が引き続き好調に推移したこと、旺盛な需要を取り込んだ価格設定により顧客単価が上昇したこと、前期に新規ゴルフ場を取得したことにより、前年同期比で増収、増益となりました。

以上の結果、売上高26,977百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益7,082百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ7,803百万円減少し、420,226百万円となりました。PGMホテルリゾート沖縄の建設工事が進行中のため、有形固定資産が2,809百万円、また遊技機の販売タイミングにより原材料及び貯蔵品が1,186百万円増加する一方、現金及び預金が8,908百万円、有価証券（投資有価証券含む）が1,652百万円減少しております。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ9,348百万円減少し、179,495百万円となりました。未払法人税等が3,843百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）が1,494百万円、支払手形及び買掛金が1,188百万円、電子記録債務が914百万円、引当金が728百万円減少しております。

(純資産の部)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の組み入れにより利益剰余金が5,628百万円増加する一方、剰余金の配当により利益剰余金が3,945百万円減少したこと等により、前連結会計年度末より1,544百万円増加し、240,730百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.9%から57.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,865	24,956
受取手形及び売掛金	9,876	9,134
電子記録債権	1,695	1,665
有価証券	23,848	22,398
商品及び製品	2,223	1,865
原材料及び貯蔵品	15,302	16,488
その他	10,941	11,211
貸倒引当金	△346	△351
流動資産合計	97,406	87,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,119	62,699
土地	218,390	218,470
その他（純額）	18,124	21,273
有形固定資産合計	299,634	302,443
無形固定資産		
のれん	5,705	5,607
その他	3,892	3,816
無形固定資産合計	9,597	9,424
投資その他の資産		
投資有価証券	8,796	8,593
その他	12,812	12,612
貸倒引当金	△217	△217
投資その他の資産合計	21,391	20,988
固定資産合計	330,623	332,857
資産合計	428,029	420,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,241	2,052
電子記録債務	7,872	6,958
1年内返済予定の長期借入金	10,423	10,288
未払法人税等	5,751	1,907
引当金	1,242	514
その他	22,447	20,307
流動負債合計	50,978	42,028
固定負債		
長期借入金	94,276	92,917
退職給付に係る負債	5,291	5,287
その他	38,296	39,261
固定負債合計	137,865	137,466
負債合計	188,843	179,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	54,864	54,864
利益剰余金	168,438	170,121
自己株式	△1,356	△1,356
株主資本合計	238,701	240,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481	340
退職給付に係る調整累計額	3	5
その他の包括利益累計額合計	484	346
純資産合計	239,185	240,730
負債純資産合計	428,029	420,226

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	34,942	35,586
売上原価	22,427	21,759
売上総利益	12,515	13,827
販売費及び一般管理費	5,024	5,173
営業利益	7,491	8,654
営業外収益		
受取利息	21	17
受取配当金	16	29
受取保険金	2	121
売電収入	38	35
固定資産売却益	0	70
その他	57	62
営業外収益合計	136	336
営業外費用		
支払利息	97	133
支払手数料	7	13
固定資産除却損	4	12
災害損失引当金繰入額	27	71
その他	54	32
営業外費用合計	191	264
経常利益	7,436	8,725
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前四半期純利益	7,436	8,725
法人税等	2,492	3,097
四半期純利益	4,943	5,628
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,943	5,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	△141
退職給付に係る調整額	9	2
その他の包括利益合計	198	△138
四半期包括利益	5,142	5,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,142	5,490

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,436	8,725
減価償却費	2,141	2,180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△718	△661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	0
受取利息及び受取配当金	△37	△46
支払利息	97	133
為替差損益(△は益)	△0	△0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△70
固定資産除却損	4	12
前渡金の増減額(△は増加)	160	128
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1	△7
売上債権の増減額(△は増加)	1,154	767
棚卸資産の増減額(△は増加)	△730	△828
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,249	△2,312
未払金の増減額(△は減少)	△1,102	△897
未払消費税等の増減額(△は減少)	△2	639
前受金の増減額(△は減少)	△1,131	△1,251
その他	327	△147
小計	6,358	6,370
利息及び配当金の受取額	34	48
利息の支払額	△97	△121
法人税等の支払額	△3,562	△5,688
法人税等の還付額	2	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,734	608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,630	△4,000
定期預金の払戻による収入	10,640	1,880
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△17,648	△15,498
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	20,648	15,497
有形固定資産の取得による支出	△2,435	△5,616
有形固定資産の売却による収入	1	70
無形固定資産の取得による支出	△26	△28
その他	△8	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,541	△7,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,567	△1,494
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,776	△3,778
その他	△131	△148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,477	△5,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,798	△12,485
現金及び現金同等物の期首残高	34,456	39,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,255	27,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じる方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	9,304	23,246	32,550	—	32,550
一定の期間にわたり移転される財	—	2,392	2,392	—	2,392
顧客との契約から生じる収益	9,304	25,638	34,942	—	34,942
外部顧客への売上高	9,304	25,638	34,942	—	34,942
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	9,304	25,639	34,943	△0	34,942
セグメント利益	1,519	6,655	8,174	△683	7,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△683百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び配賦不能営業費用△685百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	8,608	24,468	33,077	—	33,077
一定の期間にわたり移転される財	—	2,509	2,509	—	2,509
顧客との契約から生じる収益	8,608	26,977	35,586	—	35,586
外部顧客への売上高	8,608	26,977	35,586	—	35,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	8,608	26,978	35,587	△0	35,586
セグメント利益	2,272	7,082	9,354	△700	8,654

(注) 1. セグメント利益の調整額△700百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び配賦不能営業費用△704百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。